



(住所) 港区虎ノ門3-6-9 (電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <http://tsubasa.minato-tky.ed.jp/>



「目指したい姿」を胸に、次の一步へ



冷たい風が頬に触れる季節となり、今年も残すところわずかとなりました。そんな中でも、子どもたちは元気に登室し、それぞれのペースで成長を続けています。12月に入り、つばさ教室の1年を振り返る時期になりました。

つばさ教室では、登室した日には必ず「生活ふりかえりシート」を記入します。そこには「寝た時間」「起きた時間」「朝食を食べたか」「体調はどうか」といった項目があります。毎日の記入を通して、自分の生活リズムを意識し、少しずつ整えていくことを目的としています。私たちが大切にしているのは、

- 早寝・早起き・朝ごはんに代表される基本的生活習慣の確立
- 自分で決めてチャレンジする主体性の育成
- できないことよりもできたことに目を向ける前向きな姿勢の育成

です。ふりかえりシートは、こうした姿勢を自覚し、積み重ねるための道しるべなのです。

子どもたちは日々の登室の中で、ほんの小さなことでも自分の力で乗り越えたとき、確かな自信を積み上げています。最初はためらいながらだった活動であっても、自分なりに工夫し、徐々に見通しをもって取り組めるようになっていきます。生活ふりかえりシートを見ているだけでも、子どもたちの成長の証として感じるすることができます。

つばさ教室に通うとき、誰もが「こうなりたい」という“目指したい姿”を思い描いて登室を始めたはずですが、もし途中で迷いを感じたり、思うように進まないと感じたときは、初心に立ち返り、その“目指したい姿”をもう一度思い出してみましょう。自分の成長を確かめながら進むことが、次の一步を踏み出す力になります。

12月は1年の締めくくりの月です。1年間の振り返りを通して、「できるようになったこと」「頑張ったこと」を一つひとつ見つめ直してみましょう。そして年明けには、新しい目標を立て、自分を少しスケールアップさせていく準備をしていきましょう。

子どもたちが登室して顔を見せてくれることやそれぞれのペースで前へ進もうとしている姿に、私たちは日々励まされています。「今日もよく来たね」と心の中で声をかけながら、これからも一人ひとりの歩みを大切に、つばさ教室が安心して過ごせる居場所であり続けたいと思います。



お〜いお茶ミュージアム

11月6日（木）お〜いお茶ミュージアムで煎茶をいれる体験をしました。一人ひとりに急須、湯飲み、茶たく、熱湯の入ったポットがお盆の上に用意されており、道具の説明を聞いた後、お湯の温度や蒸す時間を変えて一番茶と二番茶をいれるやり方を教わり、実際に全員で実践しました。



茶葉やお湯の量を正確に測り、お湯の温度や急須で蒸す時間などによってお茶の味や香り味や違いを実感することができました。生徒からは、「一番茶と二番茶では全然味が違う。」「一番茶がまろやかでおいしい。」「二番茶の方がいつも飲んでいるお茶のようにしっかり味がついていて好きだ。」など様々な感想が出てきました。

また、お〜いお茶ミュージアムの方の説明を聞きながらメモを取ったり、お茶の花の現物を見せてくれた時に花のスケッチを取ったりするなど、進んで参加をしようとする姿がありました。さらに、子どもたちの方から「急須の洗いはどうするのですか。」「お茶はいつごろから日本で飲まれるようになったのですか。」など質問も出て、茶への関心の高さがうかがわれました。

その後、お茶の文化創造博物館の見学をして、お茶シアターでお茶の世界を堪能したり、お茶の歴史の展示物を実際に触りながら学んだりしました。「石臼でお茶を粉にする体験ができてよかった。」という感想を持つ子どももいて、見学時間が足りなくなるくらい熱心に見学をしていました。半日の体験と見学でしたが有意義で楽しい経験をすることができました。

かようびじゅつかん

11月25日（火）、校外学習として国立新美術館を訪れました。国立新美術館では、子どもの鑑賞機会の拡充と地域貢献を目的とした学校向けプログラム「かようびじゅつかん」を実施しており、今回はその一環として「時代のプリズム 日本で生まれた美術表現 1989-2010」を鑑賞しました。



当日は学芸員の方が案内役となり、子どもたちの考えを丁寧に引き出しながらディスカッションを進行してくださいました。子どもたちも、自分の感じたことや気づきを表現し、ディスカッションの後の自由鑑賞ではキャプションを熱心に読みながら作品と向き合う姿が見られました。学芸員の方からも「とても熱心に鑑賞してくれてうれしかった」とお褒めの言葉をいただきました。



休館日に行われるプログラムのため、美術館内はほぼ貸し切り状態で、落ち着いた環境の中でゆっくりと鑑賞することができ、充実した校外学習となりました。

参加した児童生徒の感想を紹介します。

- オリンピックみたいな作品を作った人の「なすび新聞」だったり、普通だったら思いつかないような作品がたくさんあって面白かった。暗い部屋で体操をしている人の映像は足が長くて驚いた。鳥と人間のキメラが未来で出てこないといいなと思った。
- 美術館は普段あまり行かないので、たのしかったです。作品がかわいいなと思ってもその作品の背景を知ると心が苦しくなりました。
- ヤノベケンジさんの作品で黄色い防護服を着てる人の作品は、最初AI画像かと思ったら本当にある場所だとスタッフの人が言っていて怖いと思った。
- 一番心に残った作品は、女の人がエレベーターで倒れている作品です。理由は何で倒れていて血を流しているのか気になったからです。前まで絵とか美術にあまり興味がなかったけど少し興味が出ました。
- 私は初めての校外学習で少し心配だったけれど楽しく美術館で作品を見ることができました。少し疲れたけど楽しかったです。



【お知らせ】

<冬休み中の開室日について>

港区内の小中学校は、今年度から12月23日（火）に終業式を迎えます。つばき教室は冬休み期間中も開室しておりますので、生活リズムの維持などの目的でご利用を希望される場合は、どうぞお越しください。なお、12月27日（土）から1月4日（日）までは、年末年始のため閉室となります。ご了承ください。

<インフルエンザが大流行しています>

今年は例年より早くインフルエンザが流行しているようです。つばき教室でも、インフルエンザに罹患する児童生徒が見られ始めています。

風邪症状がある場合は、無理をして登室せず、ご家庭でゆっくりと休んでいただき、症状の改善を最優先していただきますようお願いいたします。

----- 12月の予定 -----

外国語活動 11:00~12:00	12月 1日（月）、 5日（金）、 8日（月）、12日（金） 15日（月）、19日（金）
体育活動 （原則として毎週水曜）	12月 2日（火）、10日（水）、17日（水） ※Minato School の動きに影響されますので時間は都度お知らせします
ハンドベル演奏会 13:00~14:00	12月 3日（水） 研修室1 kiss ポート財団 ティンカーベルによる演奏会
音楽鑑賞教室 10:00~11:50	12月 9日（火） サントリーホール